

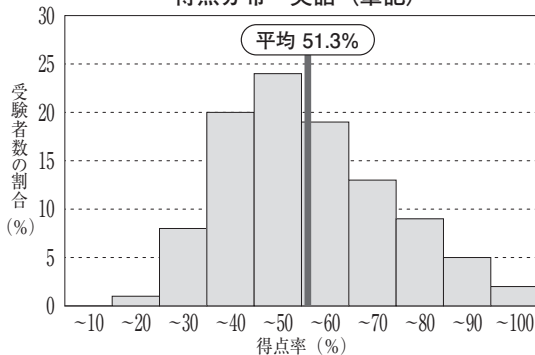
## 英語 (筆記)

## 単語・熟語・文法の早期完成に取り組もう。

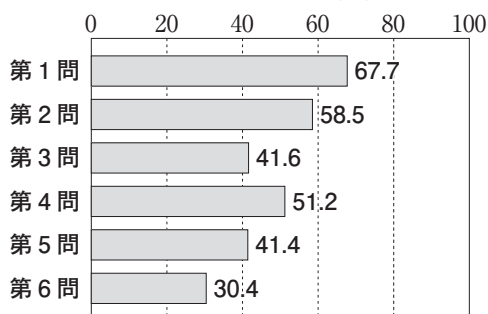
## I. 全体講評

今回の共通テスト対応高1模試(筆記)の平均点は、102.7点(51.3%)であった。この模試は、第1問・第2問は語彙・文法・語法を中心とした基礎知識の定着度を測る問題、第3問～第6問はセンター試験に近いレベルの様々な形式の読解問題となっている。第5問Bでは、共通テストで出題が検討されている、あてはまるものすべてを選ぶ形式の問いも出題した。今回の大問別の結果を見ると、第1問・第2問の語彙・文法・語法問題の得点率は60%前後とまずまずで、第3問～第5問の読解問題では得点率が約40～50%、第6問は時間不足もあったと思われるが約30%であった。今回の模試を通じて、当面の目標レベルと自分自身の現状の差を知り、まずは基本語彙と未習文法事項の早期習得を図りながら、計画的に学習を進めよう。

得点分布 英語(筆記)



大問別得点率 (%)



## II. 大問別分析

## 第1問 語彙 [単語・熟語]

## 日頃から語彙力強化に努めよう。

単語・熟語の習得は英語学習の基本である。単語・熟語は繰り返し学習することで確実に身につけてくるので、基本的な語彙の学習はできるだけ早期に一巡させよう。第1問に出ている単語・熟語は、いずれも今のうちにしっかりと身につけてほしいものばかりである。正答率が70%に満たなかったものは、Aではbehind(～の後ろに)、prepare(準備する)、bow(おじぎする)、influence(影響)、guess(推測する)、grow((人口が)増える)、Bではno longer(もはや～ない)、not always(必ずしも～ない)、take place((出来事などが)起こる、行われる)、make sure(that)～(必ず～であるようにする)であった。自分が分からなかった語句は、例文中で使い方とともに覚えよう。

## 第2問 文法・語法・構文・応答文完成

## 基本的な文法・語法・定型表現を確実に身につけよう。

第2問は文法・語法・構文等の基礎知識を中心に問う問題。実際に英語を運用するための基本ルールばかりなので、自分の知識が不十分だった問題をよく理解して確実に身につけよう。Aでは、問9の分数の表し方についての設問で正答率が18.9%と特に低かった。分数は〈基数(分子) - 序数(分母)〉で表し、基数(分子)が2以上のときは、序数(分母)を複数形にすることを確認しておこう。(例) one-fifth (5分の1)、two-fifths (5分の2) Bの対話文完成問題は全般によくできていた。Cでは、問2の正答率が17.3%と低く、〈推量の助動詞 + 完了形(have + 過去分詞)〉で過去の事柄についての推量を表すという文法事項が未習であったものと思われる。また、問3も正答率が24.6%と低く、こちらは前半のI'm afraid～(残念ながら～だと思います)を選べなかった者が多かった。

**第3問 読解問題 (段落完成)**

文章を論理的に読み解く力をつけよう。

第3問は、説明文の読み方、あるいは英語の文章の書き方の基本を理解しているかを問う問題である。Aは文と文の論理的なつながりを考えて適切なつなぎ語句を選ぶ問題。Bは段落のテーマを考え、脇道にそれるような不要文を削除する問題。Cは各段落の要旨を把握し、それぞれの段落に欠けている1文を補い、3段落からなる文章を完成させる問題。いずれも「文章の組み立て」に関する理解が問われている。

“one paragraph, one idea” (1つの段落は1つのアイデア) という原則や、文と文のつながり (例示・言い換え、逆接・対比、因果など) を明確に意識しながら読み書きする力を身につけていこう。

**第4問 読解問題 (図表・広告)**

設問文を読み、必要な情報をすばやく拾う。

第4問では必要な情報をすばやく処理する力が問われている。過去のセンター試験の広告文では、医療機関の説明文書、フライト・スケジュール、英字新聞の広告、野球試合の広告、写真館の広告、マラソン大会参加申込要項、キャンプ場の案内、美術館の案内、ビデオクリップの作品募集、料理教室の広告など、身近で実用的な題材が扱われている。英語の説明文書や図表の中の必要な情報を正しく見極める力が問われており、冒頭から順に読んでいくのではなく、見出し等からどこにどのような情報が掲載されているのか見当をつけ、設問の解答に必要な情報をすばやく読み取ることが求められる。

**第5問 読解問題 (意味推測・情報整理)**

情報を総合して適切に内容判断しよう。

第5問も応用力を試す問題で、Aでは文脈から未知の語句の意味を適切に推測する力、Bでは人物・出来事・場面展開などを整理しながら物語文を適切に読む力が問われている。Bの問1は、あてはまるものをすべて選ぶ問題で、正答率は25.1%だった。正解は②と③であるが、③を選ばなかった誤りと、⑤を選んでしまった誤りが多かった。

**第6問 長文読解問題**

論理的な流れ・構造を正確につかもう。

第6問のような長めの説明文を読む際には、第3

問で述べた着眼点に加えて、段落相互のつながりについて意識することが重要となる。文章を読んで途中で何が書いてあるのか分からなくなってしまう人や、途中で前に何が書いてあったか忘れてしまう人は、段落ごとの要点を簡単にメモしながら、接続語句などに注意して段落相互の関係を意識して読むことを心がけよう。そして「テーマ→具体化→まとめ」といった文章全体の構成を頭の中に描きながら読み進められるようにしていこう。

**Ⅲ. 学習アドバイス****◆単語・熟語の学習**

センター試験レベルの単語・熟語の学習はできるだけ早く一巡するように計画しよう。『英単語センター1800』や『英熟語センター750』などの単語集・熟語集をできるだけ早く一巡し、定期的に繰り返し確認を行うこと。なお、単語を覚えるときには必ず声に出して発音やアクセントも身につけていくことが大切である。

**◆文法の学習**

高1生の段階では文法の学習を一通り終えることが最優先の課題となる。基本的な文法事項に絞って学習し、できるだけ早く全体像をとらえることを目標にしよう。

**◆構文の学習**

文法学習を一通り終えた人は、長文読解の学習に入る前に文構造の学習を行うことをおすすめする。基本的な構文を扱う教材を使い、文法の復習をかねて基本構文をマスターしていこう。

**◆読解の学習**

高1生の時期は、しっかりと英語の基礎学力をつけることに主眼を置いて学習してほしい。そのための最も効果的な学習方法は音読である。音読を繰り返すことで、英文の流れやリズムが身体にしみこみ、すべての土台となる英語力が養われていく。こうした学習を今すぐ習慣化していこう。